



ネットめばえ



発行：公益財団法人兵庫県生きがい創造協会 西播磨文化会館内 西播磨生活創造プラザ
〒679-4311 たつの市新宮町宮内 458-7 URL: <http://www.k2.dion.ne.jp/~w-bunka2/index.html>

「ふるさと交流会2017」に参加して

上郡町赤松地区むらづくり推進委員会の取り組み

8月30日(水)に、兵庫県農業共済会館で「ふるさと交流会2017」が開催されました。県内の地域団体、NPO法人、兵庫県や大阪府の大学に通う大学生や関係機関等から参加され、地域活性化活動の事例発表が行われました。

5つのテーマごとに発表があり、各テーマ2テーブルに分かれたのち意見交換、とりまとめ、最後に全体で発表されました。(1)地域資源を活かした活動の展開—赤松地区むらづくり推進委員会(上郡町)、(2)地域間交流による賑わいづくり—与布土地域自治協議会(朝来市)、(3)大学生と取り組む地域の活性化—久下

自治振興会(丹波市)、ミライの輪(神戸親和女子大学)、(4)活動の担い手の輪を広げる—なんなんまちづくりの会(稲美町)、(5)地域内の他団体との連携・協働—園田北まちづくり協議会(尼崎市)

その中で、「地域資源を活かした活動の展開」のテーマで報告された上郡町赤松地区むらづくり推進委員会を取材しました。

赤松地区は上郡町にあり、近年若者の転出で過疎化が進み、15自治会の内2地区が限界集落になっています。以前は苦勞して若者を対象にした催し物を行っていたが、最近は今住んでいる人を中心とした行事を考え



事例報告会にて

るようになったそうです。住民の健康、交流が第一というのです。

“目からうろこ”の一言でした。

“白旗城まつり”を例に具体的なお話を聞きました。11月23日(木)の武者行列を目標に子供、高齢者共同で160体の厚さ2mmの厚紙を使用した鎧を作製する作業は、地域の一大事業と言えます。住民の関心度も高く、「主催者、参加者が楽しむことを重要とすることで地域が元気になり、若者もそのことで地域をわかってくれる」という発表者の古正(ふるまさ)会長のことばが胸にしみました。

この交流会には、たくさんの大学生が参加してくれており、非常に熱のこもった意見を出してくれました。「明日の兵庫」はまだまだ大丈夫だと感じて帰ってきました。

【取材・文責：福田一成・永田武三】



大会会場にて(赤松地区むらづくり推進委員会の皆さんと)